

科目名称	看護過程	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	福田 栄江	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

看護の対象者に個別的な看護活動の方法を実践するために、健康問題を解決する系統的な方法を学び、臨地実習における看護過程に展開につなげる。

【2】学習目標

- 1.看護過程の基礎となる知識や理論を学び看護過程の意義と段階を説明することができる。
- 2.情報整理の枠組みを説明でき、情報を分類することができる。
- 3.枠組みの情報を解釈・分析することができる。
- 4.看護計画～評価の一連のプロセスを説明することができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護過程の構成要素	講義
2	アセスメント1	講義
3	アセスメント2	講義
4	看護問題抽出	講義
5	看護診断	講義
6	看護計画・実施・評価	講義
7	関連図	講義
8	看護過程の実際(1)	演習
9	看護過程の実際(2)	演習
10	看護過程の実際(3)	演習
11	看護過程の実際(4)	演習
12	看護過程の実際(5)	演習
13	看護過程の実際(6)	講義
14	記録と報告	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験(40%)、課題(40%)、演習課題(10%)、演習(10%)で総合的に評価する。

【6】教科書

茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ(第19版) 医学書院 2024(電子版)
 T.ヘザー・ハードマン、上鶴重美：NANDA-I 看護診断定義と分類 2021-2023(原書第12版) 医学書院 2023
 ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践 看護アセスメント 第3版 2017 ヌーベルヒロカワ

【7】参考書

基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版 医学書院 2012
 ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断 第5版 ヌーベルヒロカワ

【8】受講生へのメッセージ

看護過程は、看護実践を考える基盤となる科目です。学校の図書を活用しながら自己学習が不可欠です。